

今からできる！ ごみ減量のススメ

☎ 清掃センター ☎22-2734 FAX 24-7787

第7回 タイヤの処分方法は？

これから春にかけては、タイヤ交換の機会が増える季節となります。タイヤは、自動車・バイクや、自転車などで、それぞれ処理の方法が異なり、清掃センターで受入れできないものがあります。以下の方法で正しく処分しましょう。

- ☑ 自動車・バイク・農耕車のタイヤ
→ 清掃センターでは**処理できません**。
販売店などにご相談ください。



- ☑ 自転車・一輪車・リヤカーのタイヤ
本体のまま → **粗大ごみ** 清掃センターへ持込



- リム付きタイヤ → **粗大ごみ** 清掃センターへ持込



- タイヤやチューブ → **埋立ごみ** 地域の集積所もしくは小八木中継基地へ持込

※ 30cm 程度の長さに切り指定袋に入れて出してください



捨てる前に

「もったいない」について考えてみましょう

清掃センターでは、「まだまだ使える」、「修理すれば使える」自転車がたくさん捨てられています。捨てる前にリサイクルショップへ持ち込む、修理する、知人に譲るなど検討しましょう。

彦根城は、知れば知るほど、オモシロイ。

未来に残そう みんなのお城 -vol.33-

彦根城を世界遺産に



節分にちなんで 一鬼の力のおまじない「鬼瓦」

☎ 彦根城世界遺産登録推進室
☎ 26-5833 FAX 26-5899

彦根城の天守には、さまざまな「おまじない」がかけてられています。その一つが鬼瓦、鬼の力で災難が寄り付くのを防ごうとしたものです。他にも建物が火災にあわないようにシヤチホコ（鯰瓦）や鯰魚の屋根飾りをつけるという防火のおまじないもかけていました。鯰は中国の伝説上の水の生き物、鯰魚は、魚の尾ビレを模したもので、「火」の反対の力、「水」の力に頼ったものです。

現代の「避雷針」のようなものが無かった江戸時代には、落雷で簡単に建物が燃えてしまいました。当時の人々は、このような「おまじない」を信じて、城を象徴する天守のような大切な建物を守ろうとしたのです。

